



虹懸

新年のご挨拶

海外研修
野水病院長が平成28年度日本臨床外科学会
総会学会賞を受賞しました
こおりやまオレンジカフエ☆キラリ☆
第8回キッズツアー開催
星ヶ丘保育園
事業所内保育事業開園式が行われました
施設ニュース
トピックス



自由 作品 2 (F50 1999)
星 一雄

認知症とは、認知障害(物事の理解の障害)により日常生活に支障をきたした状態を言います。

近年、認知症の患者さんによる事件や事故が社会問題となっている他、介護の問題なども大きな問題になっています。我が国では認知症の患者さんは今後約700万人まで増加すると予想されており、認知症の問題は国の課題として対応しております。

当法人も様々な取組みをしている中で、特に認知症事業に力を注いでいます。

平成25年8月に星総合病院は福島県から認知症疾患医療センター事業を委託され、県中・県南地区約70万人の地域を担当し、認知症の拠点病院として機能しています。更に郡山市からは、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座等の委託を受け、それぞれ展開しています。

認知症対応には、多職種でチームを組み、認知症の患者さんの診療と御家族の負担軽減を目標して、一人ひとりと向き合うことが大切です。

その為に認知症の患者さんと御家族が安心して生活できるように地域と連携し、介護者の負担が増大する前により早期に介入して医療・保健・福祉サービスを提供することができるように取り組んでいきたいと思ひます。

星総合病院 精神科部長
森 東

醫西

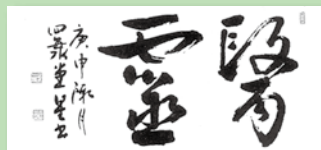
靈亞

＜醫霊＞霊をも醫(癒)やしたい——という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

新年のご挨拶

当法人の理念は、「醫靈」である。これは辞書には載っていない語である。創始者星一郎が、私達の持てる力を最大限に発揮してもなお救えなかった人々の靈に對し、その靈をも醫癒（いぐ）やしたい、それが医道を歩む者が生涯持ち続けなければならない覚悟であるという信念が込められている。医療医学は科学であるが、その対象は情と心を持った人間である。このことを常に念頭におき、科学と人間の間に埋めることこそが私どもの使命である。医の原点を見据えながら「醫靈」という理念の具現化を図っていきたい。

理念



公益財団法人星総合病院 理事長 星 北斗

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、格別のご厚誼を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今年、星総合病院が平成25年1月に新築移転し5年目を迎えます。

地域医療支援病院として救急体制の拡充、医療人としての人材育成、医療機関との連携強化など更なる充実に向けて取り組んで参ります。

星ヶ丘病院におきましては精神科病院の将来を見つつ病棟再編を進めます。

また、昨年は郡山市認可保育園としてほしのご保育園に続き12月には星ヶ丘保育園が認可されましたことをご報告すると共に、総合的な子育て支援事業に取り組みます。

更に、地域包括ケア事業や健康増進事業など、より具体的に地域に根ざした活動を積極的に進めて参ります。
本年も皆様のご指導・鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



公益財団法人星総合病院 総長院長 丸山 幸夫
ほし横塚クリニック 院長



新年明けましておめでとうございます。少子高齢化の時代といわれ、その動向が注目されています。差し当たっては高齢化が問題であり2025年問題があります。すなわち、2025年頃には75歳以上の高齢者が急増し医療、介護、福祉サービスなどの需要が大きくなり、これらの機能低下に加え財政破綻が心配されています。

東日本大震災から5年以上経過しても復興いまだという状況ではありますが、2025年問題は別の意味で新たな津波の襲来とも取れる大きな問題です。それに対応する手段は、前にも書きましたが地域包括ケアシステムであると思います。これは簡単ではありませんが、知恵を

絞り地域に合った地域包括ケアシステムを確立することだと思います。

ほし横塚クリニックは地域の皆様に信頼されるクリニックを目指していますが、星総合病院との連携を生かし
なお一層の力を注ぐ覚悟です。

今年は酉年でよき年になることが期待されています。頑張りましょう。

星総合病院 病院長 野水 整

新年あけましておめでとうございます。

昨年は星総合病院としては大きな事故もなく過ごすことができました。地域の皆様、職員の皆様に御礼申し上げます。とはいえ、昨年は2011年の大震災を思い起こさせるような熊本の大地震、点滴異物混入や点滴穴あけの事件などいくつもの大きな事件災害が起こっています。今年の星総合病院の目標は、①医療環境の整備・改善を怠らず事故を未然に防ぐ、②大災害に備え常日頃から防災訓練を実施し医療の確保提供につとめることを柱に、これまで通り、質の高い高度な医療を提供できる急性期病院として医師職員一同精進し、また慢性期・療養型病院、在宅医療と連携した地域密着型医療を目指していききたいと思います。





星ヶ丘病院 病院長 沼田 吉彦

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当院へのご理解とご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。

ここ数年において医療費の増大と高齢化社会に対して、病院の機能分化の促進及び在宅治療に向けての地域連携の強化が叫ばれております。また、長期在院患者の退院促進、入院期間の短縮化、地域医療へのシフト等の要因から全国の精神科病院の平均病床利用率（全国90%、福島県80%）も低下してきました。

精神科領域は今まで以上に地域に密着した病院のあり方が問われると共に、地域医療の中における精神科病院として変化していくと思います。その為、地域の総合病院・クリニック等との医療連携も重要となります。

社会の変化は精神科医療に非常に結びつきやすく、精神科医療は今後も変化を続けるものと思われますが、職員一同期待されるニーズに沿ってより優れた医療を提供できるように努力いたします。加えて、病院改築へ本格的に着手してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

三春町立三春病院 病院長 渡辺 直彦



新年あけましておめでとうございます。

今年は当財団が町立三春病院の指定管理者を担当して10年が過ぎます。これまでの実績が評価され三春町との契約が更新されることになりました。4月1日より新たな10年間の病院運営が始まる予定です。これまでに皆様からご支援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。今後とも益々のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

三春病院はこれまで通り星総合病院の一部門として地域との橋渡し役を担っていくつもりです。救急患者のゲートキーパー役として、そして、在宅へ戻る前のリハビリ治療を中心に退院支援を担当します。また、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリを充実させ在宅医療を推進させていきたいと考えております。

少子高齢化を背景に、厳しい医療経済下ですが、地域住民のニーズをしっかりと把握し、町立病院として期待に応えられるように引き続き努力してまいります。

本年も、宜しくお願い申し上げます。



介護老人保健施設オリオン 施設長 森 慶秋

現在、私は84歳になり、100歳まで残り僅かとなりました。

当施設では、推進される地域包括ケアシステムに倣い、介護老人保健施設本来の目的とされる医療機関と自宅との中間的役割として入所者様の在宅復帰を支援しております。

紆余曲折もありますが、何とか職員皆の努力によって在宅復帰は維持されており、今後も高齢者が住み慣れた自宅や地域で暮らしていけるように支えていきたいと思っております。

私も皆に支えられ自宅から職場に通い、何歳まで働けるか分かりませんが、皆さんに御迷惑を掛けないように引き下がりねばなりません。体力には自信があるのですが気力が続くかどうか。

入所されている周りのお年寄り皆さん意気軒昂に見えますが、何とかついていきたいものです。

今年もよろしくお願い致します。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎



新春のお慶びを申し上げます。

介護保険が始まり早や17年目に入ります。予算がない・人がいない・知恵も出ないが高齢者人口は増え続けるというのが現状です。沢山の対策は考えられ打ち出されています。しかし、どれを執っても上手くいくとは限りません。

ただ社会福祉法人と他関係機関と住民の連携による地域包括ケアシステムの構築（まち作り）こそ、挑戦してみる価値のある一つの方法だと思います。社会福祉法人がジリ貧になる前に、専門職を多く抱えていてまちに飛び出すことも身軽にできてソーシャルワークが実践できるのは社会福祉法人の強みだと思います。

社会福祉法人間の連携や医療との協力により、世代や境遇に垣根を作らず様々な人に支援を提供することは、住民や行政も巻き込んだ新たなまち作りです。迅速な決断と実行、予算の削減、関係者間で人手不足を補い、ボランティアや住民活動が相互に触発し合って職場の人材不足を更に補う。介護・福祉・医療から始まる地域活動は、世代を超え地域を越え、住み易い安全安心なまち、素敵な故郷を作っていくことに他なりません。社会福祉法人としてそのように皆様の目に見える活動を推進していきたいと思っております。

どうぞ今年もご指導ご協力の程お願い申し上げます。

11/14 ~ 11/19

海外研修

～ハワイ～

毎年、勤続10年の職員及び研修医を対象に海外研修を行っています。

昨年から、決められた行程を見学するだけのものではなく、より自主的な研修にするため、それぞれが研修したいことを決め、見学の依頼をするなど事前の準備にも一層時間をかけました。

11月7日には壮行会を開き、研修先のハワイの医療情勢や日本との比較を挙げながら、事前学習を発表。職員一同、エールと共に送り出しました。

研修中はハワイから届くメールを「海外研修速報」としてフェイスブックでご報告しました。



☆海外研修速報☆ (研修先から届く情報をフェイスブックで紹介しました)

11月15日、2日目。ハワイ州立長期介護施設“マルヒア”での視察風景、ダイヤモンドヘッドからの日の出風景です。ハワイの自然を味わいながら、研修先での有意義な学び、体験を満喫中です。



11月16日、3日目！ホスピスハワイで研修を行いました。ダウンタウンのオフィスで概要説明を受け、その後カイルアホームの施設見学です。ボランティアで行っているヒーリングタッチについてレクチャーを受けました。



夜は、みんなでウルフギャングのステーキを美味しく楽しく頂きました。

11月17日、4日目！クイーンズメディカルセンターを視察しました。この施設は、民間の急性期病院としてはハワイ州で最大の施設です。

自由視察では、食べる価値あるパンケーキとオムレツに出会いました♥



11月28日には帰国報告会を開き、事前に設定した自己課題のテーマについて発表しました。

それぞれの専門分野・立場で感じた海外と日本の医療体制・社会環境、文化の違いについて報告がありました。



この研修での経験を活かし気持ちを新たに日々の業務に取り組んでまいります。

野水病院長が 平成28年度日本臨床外科学会総会学会賞 を受賞しました

第78回日本臨床外科学会総会は「事上磨錬の実践」をテーマに、11月24日～26日東京で開催、星総合病院 野水整病院長が『家族性・遺伝性腫瘍の臨床的研究』の功績を認められ、福島県で初めて学会賞を受賞、特別講演をしました。

● 日本臨床外科学会 ●

昭和12年に発足。全国の個人会員に加え、各地域において県単位で活動する外科組織が参加。会員数19,000人を超える、臨床現場に根ざした全国の外科医からの声が届くシステムを有する唯一の学会。



福島民友・福島民報・朝日新聞 各社取材されました。

郡山市委託事業 こおりやまオレンジカフェ ☆キラリ☆

今年は4月から12月までに18回開催し、300名を超える方々に参加していただきました。

一方通行のものではなく、みんなのカフェにしたいと参加した方々のお声を聞かせていただくためにはじめた木がこんなに大きくなりました。花や葉の一枚一枚にはそれぞれの想い、感想などが綴られ、私達を励まし助けてくれます。

「認知症カフェ」にはちょっと…」という方は、10時20分からの健康体操、10時30分からの健康講座にご参加下さい。様々な専門分野についてのお話や、頭と身体を使った簡単な体操に申込み不要でご参加頂けます。ぜひ一度、ご参加下さい。

4月



12月



こんなに大きくなりました



こおりやま オレンジカフェ☆キラリ☆

オレンジカフェは、認知症の人とその家族、介護者の、地域の、どんなでも参加できる場所です。なんでも話せる居場所の場として、参加者との親しいで過ごしません。

平成28年度 開催日時
毎月第2・第4水曜日
11時00分～12時30分

4/12・4/26・5/10・5/24・6/14
6/28・7/12・7/26・8/9・8/23
9/13・9/27・10/11・10/25・11/8
11/22・12/13・12/27・1/10・1/24
2/14・2/28・3/14・3/28

※10時30分～11時10分には健康講座を開催しています。ぜひご参加ください。

※認定介護士や臨床心理士、リハビリスタッフ、社会福祉士などが、健康・医療等に關する語りこに力をつけてください。

※参加費のお申し込みは必要ありません。

**お茶を飲みながら
色々お話ししましょう**

（こおりやまオレンジカフェ☆キラリ☆は郡山市の委託事業で運営されています）

【お問い合わせ先】
公益財団法人 星総合病院
認知症課
電話：024-983-0511

参加費 **200円**

※山形市南地区 134番地1号1
（南地区南地区をこの間下さい）

第8回キッズツアー開催！

12月17日

夏休みに続きキッズツアーを開催、保護者を含め約50名が参加しました！子ども達に病院を紹介するだけでなく、医療や命について考えるきっかけになればと平成25年の新病院オープンの年から始まったキッズツアー。8回目になる今回のツアーをご紹介します。

8:30~9:30 受付、開会式、オリエンテーション

白衣と聴診器で記念撮影の後、開会式とオリエンテーション。
思い思いにシールなどで飾り付けたネームを胸に付けと準備万端。

9:30~10:20 病院見学・体験ツアーへ！

救急入口から見学スタート。普段は乗ることのできない緊急用エレベーターで手術室、ドクターヘリ用ヘリポートを見学しました。
看護実習室では実際の患者さんのような病状を作り出せる等身大の人形に聴診器を当てたり、脈を診たり、注射や点滴練習用の腕模型におそろおそろ触れてみたり、気管挿管してモニターで見てみたり…。
歩き回った後はジュースでひと休み。

10:20~11:20 ブース体験

今回はちょっと特別な分野について体験ブースをご用意しました。



視能訓練士



臨床検査技師



歯科衛生士



助産師

11:30~12:00 振り返り・修了証書授与

ツアーを修了した子ども達に白衣姿の写真入り修了証書が手渡されました。終了後のアンケートでは「あかちゃんをおフロに入れるのがたのしかった」「星そうごうびょういんのじまんができそう」などかわいいご意見を、保護者の方からは「親子で同じものを見て聞いて感じてとても良い時間を過ごすことが出来ました」とのご意見をいただきました。

次回は夏に開催予定です！是非ご参加ください。



星ヶ丘保育園 事業所内保育事業開園式が行われました

現在入園中の職員の子どもに加え、市内の待機児童解消の一助として事業所内保育を開始することになりました。

12月1日、星ヶ丘保育園認可保育移行を祝う開園式が行われ、吉崎副市長よりこども事業部の佐藤正敏部長に「認可証」が手渡され、在園児によるくす玉割りや歌が披露されました。法人を代表して子ども事業部 佐藤部長より「困っている保護者の方の受け皿になると共に、保育士として抱く思いを実現したい」、佐藤園長から「星ヶ丘保育園で良かった。星ヶ丘保育園に入園させたいと思えるような施設にしていきたい」とのお話がありました。星ヶ丘保育園の認可によって法人の3施設全てが認可保育所となり、今後それぞれが連携を深めながら質の高い保育を提供して参ります。



施設ニュース

三春町第1保育所・ほしのご保育園・星ヶ丘保育園

おたのしみかい・クリスマスおゆうぎ会・クリスマス会を開催しました

12月9日、
三春町第1保育所
「おたのしみかい」



12月10日、ほしのご保育園
「クリスマスおゆうぎ会」



12月21日、星ヶ丘保育園
「クリスマス会」



みんなで準備を重ね、それぞれこの1年の成長がよくわかる楽しい会となりました。

ポラリス保健看護学院

海外研修の準備が進んでいます

ポラリス保健看護学院では4年次に海外研修を行っています。3年生のうちから準備を始め、12月には日本とオーストラリアを比較し、保健・医療・福祉のあらゆる面から疑問点を抽出した事前学習の共有会を全学年で行いました。3月下旬にはオーストラリアに向けて出発します。ホームステイや施設見学などを行い、国際的な視野をもった医療職者を目指します。5月下旬の報告会に是非お越し下さい。



年越しそばを振る舞いました

星総合病院・三春病院

12月31日

大晦日の夜を病院で過ごされる患者さんのご家族や付添いの方々を対象に、毎年恒例の「年越し蕎麦の振る舞い」を行いました。

職員有志が心を込めて調理。それぞれ施設の特設会場で提供させていただいたほか、病室までの出前も大好評。用意していたお蕎麦はあっという間になくなりました。



クリスマスコンサート開催

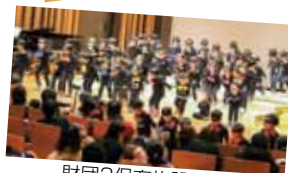
12/17星ヶ丘病院・オリオン

12/24星総合病院

今年もまたボランティアの方々のご協力によるクリスマスコンサートを開催し、たくさんの皆様にご来場いただきました。12月17日には星ヶ丘病院・オリオンであさか開成高校吹奏楽部の皆さんが、12月24日にはメグレズホールで日本ダウン症協会福島ひまわり会「サンフラワー」・安積高校合唱団・郡山女子短期大学部音楽科の皆さん、当財団の3保育施設、職員フラダンス同好会「ホクアオ」が、それぞれのパフォーマンスでクリスマスの雰囲気をたっぷりと届けてくれました。



あさか開成高校吹奏楽部



財団3保育施設合同



サンフラワー



安積高校合唱団



ホクアオ



郡山女子短期大学部音楽科

「ピンクリボンin郡山」実行委員会主催 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボンin郡山」2016開催しました

乳がんの増加に伴って乳がん検診の受診率向上が急務となり、全国的にピンクリボン運動が活発化する中、ここ郡山市でも2009年に市内の乳がん専門医が中心となり「ピンクリボンin郡山」実行委員会を設立。毎年乳がん検診啓発イベントを開催し、今回で8回目となりました。今年は野水整実行委員長（星総合病院病院長）による特別講演のほか、専門医や各専門分野の講義を中心にステージイベントや各種ブース、体験や見学などもご用意しました。

性別を問わず幅広い年代の方にご来場いただき、スタッフ・関係者も含め700名以上の方々に乳がんへの知識を深めていただきました。

福島県をはじめ市町村や団体・企業の後援、多くの医療機関や企業にご支援・ご協賛をいただき、ポスター掲示・チラシ配布のご協力、テレビCMや新聞広告、ラジオ出演などで乳がんの話題を取り上げてもらうなど「乳がん月間」にふさわしい啓発活動になりました。



『クロニクル昭和回想』に 掲載されました

平成28年11月28日発行の『クロニクル昭和回想』（株式会社財界21発行）に星総合病院のあゆみや今後の展望などについて掲載されました。

県内40の企業の貴重なお写真などもたくさん掲載されていますので、ぜひ書店でお求めください。



地域包括セミナー

地域の医療全体での連携やレベルアップをはかるために何ができるか。星総合病院在宅事業推進部では皆様の声を聞きながら少しずつ取り組みを進めています。

7月に開催した第1回の「多職種連携による在宅医療～家庭医の立場から～」に続き、今回は「救急医療」にスポットを当て、みんなで考える機会を持ちたいと思います。ぜひご参加ください。

日時：平成29年2月25日(土) 13:00～14:15
メグレスホール

お申し込み・お問合せ

TEL：024-983-5246
MAIL：zaitaku@hoshipital.jp
担当：在宅事業推進部 渡辺



ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipital.jp>
発行／公益財団法人星総合病院
編集／法人広報部
発行日／平成29年1月
住所／〒963-8501
郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511
- 星総合病院 在宅介護支援センター
TEL 024-983-5515
- ほしのご保育園
TEL 024-983-5519
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411
- 星ヶ丘訪問看護ステーション
TEL 024-962-1711

居宅介護支援事業所星ヶ丘

TEL 024-952-6414

星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号

TEL 024-951-0788

● 介護老人保健施設 オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天2番地

TEL 024-952-6413

● 三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六井崎50

TEL 0247-62-3131

三春訪問看護ステーション

TEL 0247-73-8270

● ほし横塚クリニック

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36

TEL 024-956-7778

星訪問看護ステーション

TEL 024-956-2322

芳賀・小原田地域包括支援センター

TEL 024-941-1121

● 星訪問看護ステーション しずか

〒963-0209 福島県郡山市郡町1丁目18番地 ウエストパークビル102号

TEL 024-983-6410

● 養護老人ホーム 三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六井崎50番地の1

TEL 0247-62-3618

● ボラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号

TEL 024-983-5010

● 三春町第1保育所(指定管理)

〒963-7769 福島県田村郡三春町担橋1-4-1

TEL 0247-62-3839